

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社
東証スタンダード 6836

2022年11月4日

ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設立：1993年3月

決算期：3月

上場：東証スタンダード 6836

資本金：1億円

社長：鈴木 友康

売上：12億1,952万円（2022年3月期）

社員数：35人（2022年9月30日現在）

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

当社ミッション

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

ぷらっとホームの事業領域

当社ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

PHYSICAL WORLD



あらゆるデバイスをインターネットへ
取扱商品（センサー）の拡充

コア・コンピタンス
IoT事業

CYBER WORLD



デバイス管理・リモート管理
データ流通・伝送基盤

より利便性の高い社会の実現へ
地方公共団体・電力会社
交通・物流・公共施設

より豊かなくらしづくりの実現へ
ビルマネジメント・ビル設備・照明システム
自動車・エネルギー・各種製造業・建設業

より安全な社会の実現へ
地方公共団体・教育機関・医療機関
警備・保険・セキュリティ

当社が培ってきたIoT事業を核に周辺領域へ事業を拡大

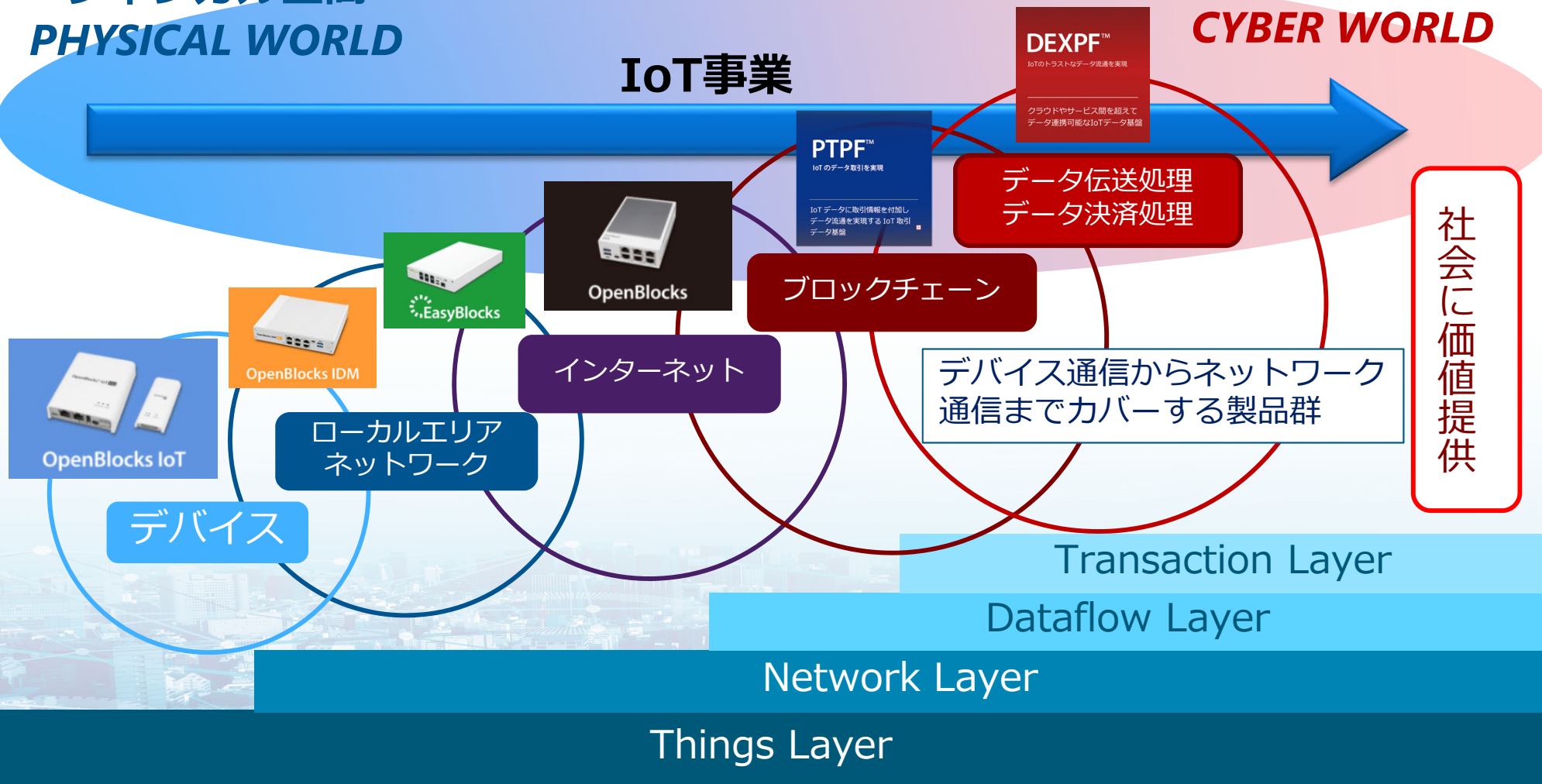
ぷらっとホームの事業領域

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

フィジカル空間
PHYSICAL WORLD

サイバー空間
CYBER WORLD

IoT事業



ぷらっとホームの製品ラインナップ

IoT・マイクロサーバー・ネットワーク製品



OpenBlocks

小型かつ堅牢
可用性の高いマイクロサーバー



OpenBlocks IoT

最先端ソフトウェアFWを搭載
したIoTゲートウェイ



EasyBlocks

シンプルに構築できる
ネットワークアプライアンス



OpenBlocks IDM

BIツール・ハードウェア一体型
IoT専用サーバー

IoTサービス・ソフトウェア製品



AirManage2

デバイスリモートマネジメントサービス

IoTゲートウェイをリモート
一括管理・制御・拡張

Plat'Home
IoT Gateway
Software
FW4

IoT センサー・デバイスとの
プログラミングレスを実現する
IoTゲートウェイソフトウェア

IoTプラットフォーム製品

PTPF™

IoT のデータ取引を実現

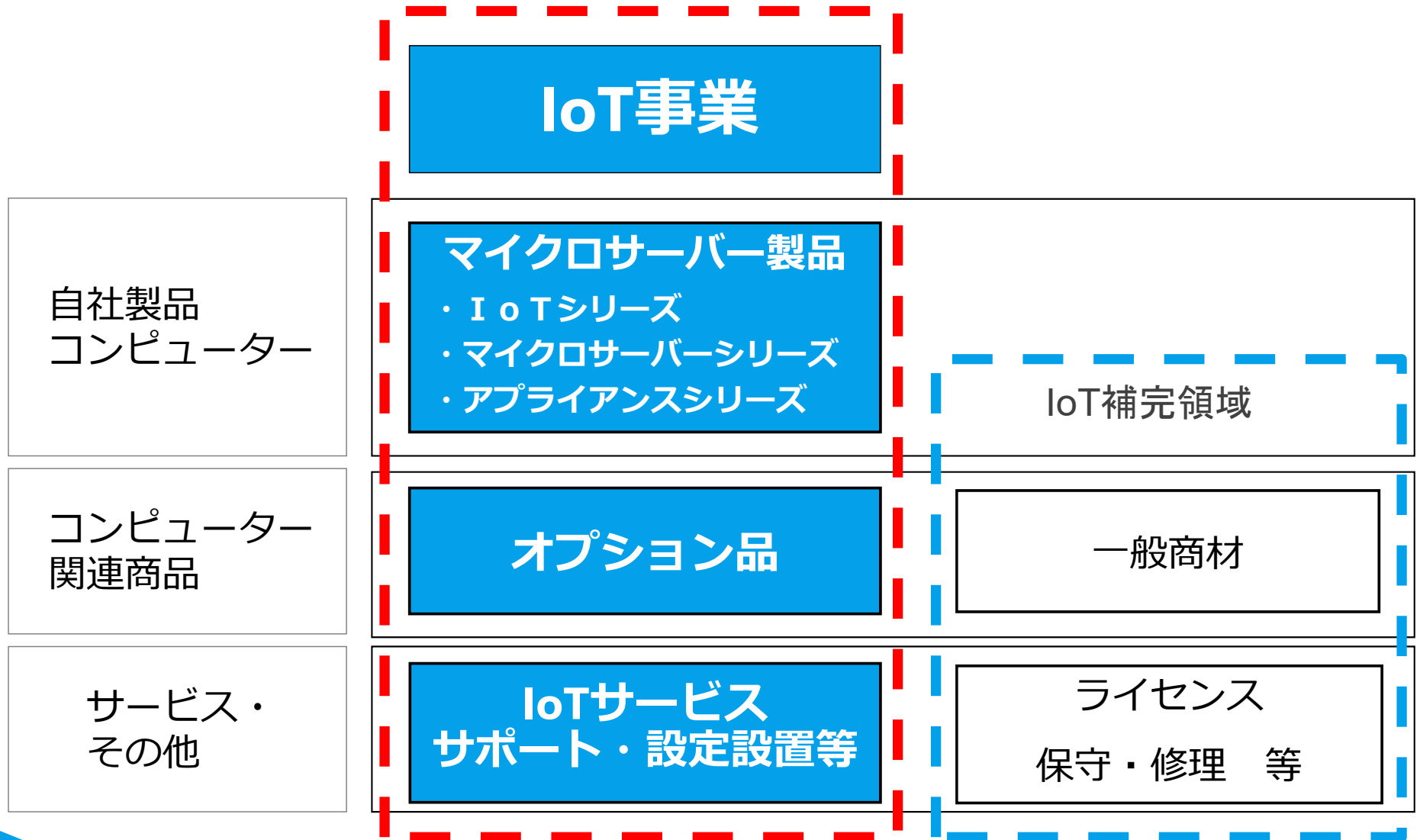
IoTデータに取引情報を付加し
データ流通を実現する IoT 取引
データ基盤

DEXPF™

IoTのトラストなデータ流通を実現

クラウドやサービス間を超えて
データ連携可能なIoTデータ基盤

事業構成

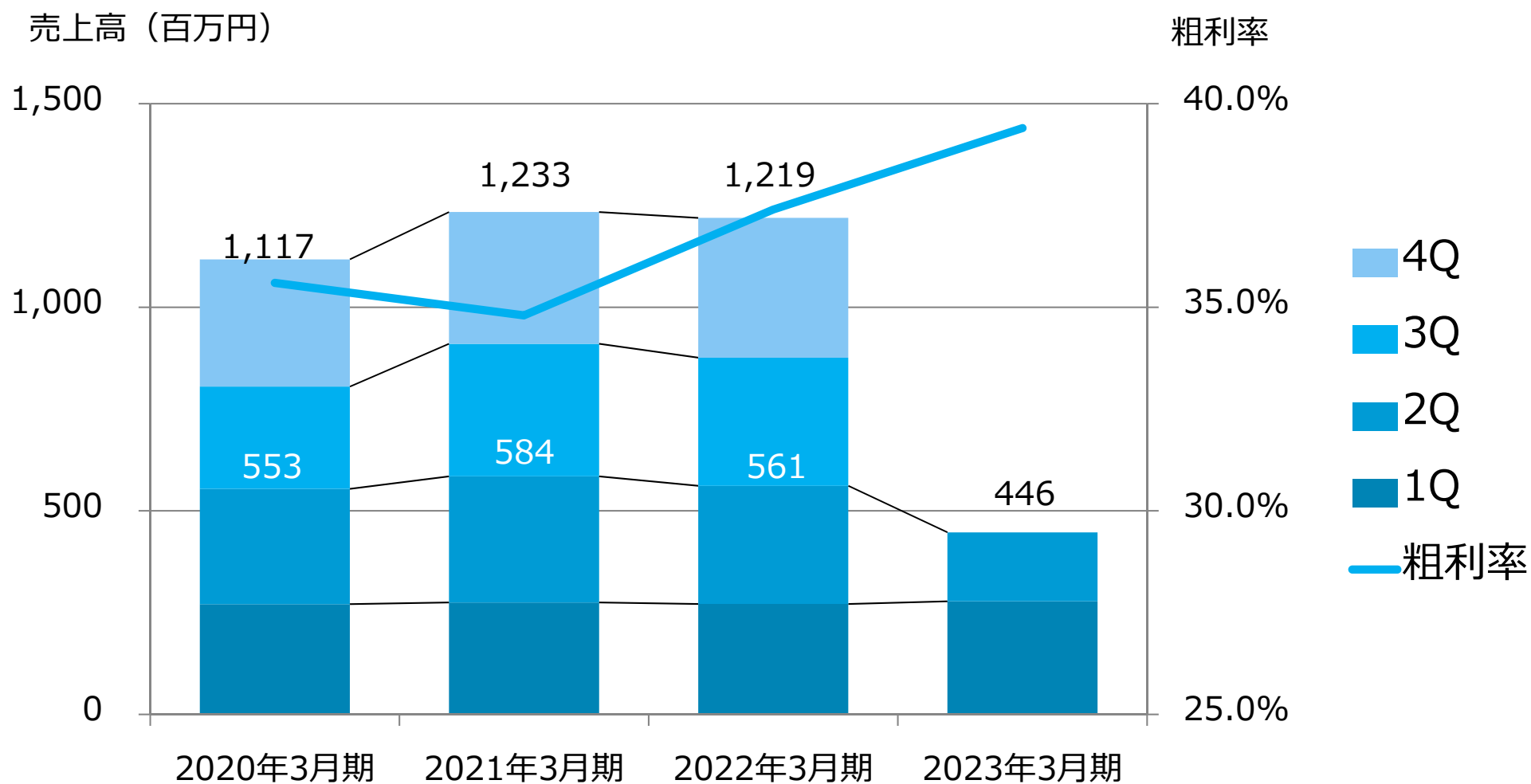


自社IoT事業を核にパートナー各社とのアライアンスでIoTの補完領域を拡充

Financial Results 2022

2022年度の業績

売上高の推移



品目別の状況

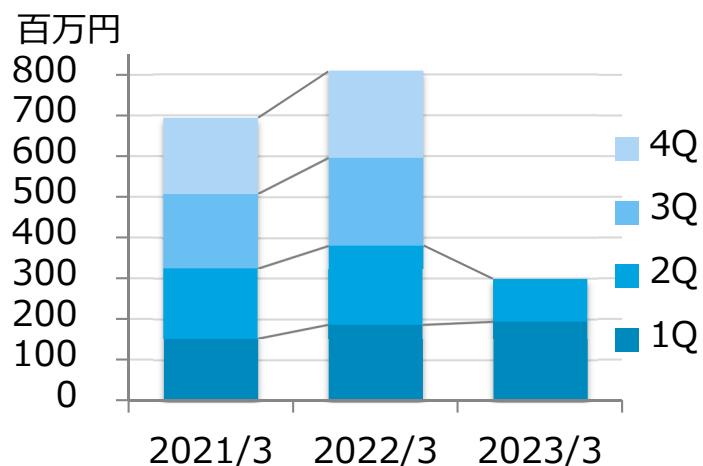
売上高	2022年3月期 2Q		2023年3月期 2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	561	100.0	446	100.0	△ 114	△ 20.4
自社製品コンピューター	315	56.2	241	54.1	△ 73	△ 23.3
コンピューター関連商品	129	23.0	98	22.1	△ 30	△ 23.5
サービス・その他	116	20.8	106	23.8	△ 10	△ 9.1

粗利益	2022年3月期 2Q		2023年3月期 2Q		前年同期比	
	金額	粗利率	金額	粗利率	増減額	増減率
粗利益	209	37.3	175	39.4	△ 33	△ 16.0
自社製品コンピューター	105	33.4	83	34.7	△ 21	△ 20.2
コンピューター関連商品	29	22.7	24	24.4	△ 5	△ 17.6
サービス・その他	75	64.2	67	63.9	△ 7	△ 9.6

(単位 百万円未満切捨、%)

IoT事業の推移

IoT事業の売上高



	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	2Q	2Q	増減額	増減率
売上高	金額 381	金額 299	△ 82	△ 21.6
マイクロサーバー製品	319	244	△ 75	△ 23.6
IoTサービス	31	30	△ 0	△ 2.3
その他サービス	30	23	△ 6	△ 21.2
売上総利益	165	136	△ 28	△ 17.1
粗利率	43.2%	45.7%	+2.5p	

(単位 百万円未満切捨、%)

顧客需要は比較的堅調であるものの、第2四半期は半導体部品の供給不足による製品出荷の減少により、売上高が前年同期に対して大きく減少

損益計算書

	2022年3月期 2Q		2023年3月期 2Q		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	561	100.0	446	100.0	△ 114	△ 20.4
売上総利益	209	37.3	175	39.4	△ 33	△ 16.0
販管費	274	48.9	242	54.3	△ 31	△ 11.5
営業利益	△ 64	△ 11.5	△ 66	△ 14.9	△ 2	—
経常利益	△ 65	△ 11.6	△ 67	△ 15.0	△ 1	—
当期純利益	△ 39	△ 7.0	△ 72	△ 16.3	△ 33	—

IoT事業と一般商材のどちらも、半導体部品の供給不足の影響を受け、売上高は大きく減少

人件費をはじめ大幅な節減を行い減少

営業損失及び経常損失は前期と同水準

(単位 百万円未満切捨、%)

貸借対照表

	2022年3月		2022年9月		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	309	41.0	262	40.7	△ 47	△ 15.4
売掛金及び 契約資産	155	20.6	66	10.4	△ 88	△ 57.0
棚卸資産	199	26.4	237	36.9	38	19.2
その他	41	5.4	27	4.3	△ 13	△ 33.5
流動資産	705	93.4	593	92.3	△ 111	△ 15.9
固定資産	49	6.6	49	7.7	—	—
資産合計	755	100.0	643	100.0	△ 111	△ 14.8
流動負債	246	32.7	209	32.6	△ 37	△ 15.0
固定負債	40	5.4	38	6.0	△ 1	△ 4.7
負債合計	287	38.1	248	38.6	△ 38	△ 13.6
純資産合計	467	61.9	394	61.4	△ 72	△ 15.6
負債純資産合計	755	100.0	643	100.0	△ 111	△ 14.8

主な内訳
 ■商品・製品 20百万円
 ■原材料 216百万円

買掛金の減少25百万円

(単位 百万円未満切捨、%)

半導体供給不足・円安への対応

当第2四半期累計期間の半ばから一部半導体の供給が急速に悪化しており、当社の製品生産に大きく影響した

半導体全体の生産は徐々に回復しつつあるものの、一部半導体の供給不足は容易に好転を見通すことのできない状況

<対策>

- ・ 第二世代製品群への移行（1年前倒し）
- ・ 高付加価値製品の優先取組みの実施（ソフトウェア・サービス）
- ・ 既存製品用部品の調達強化（調達ソースの多様化を含む）



第4四半期に向けて業績回復を図る

<本質的な転換>

ソフトウェア・サービス型の事業会社へと転換を実行する

新製品 OpenBlocks IoT FX1

IoTデバイスやクラウドとノーコード接続
堅牢・高速・低電力消費の最新IoTゲートウェイ



データ利活用のさらなる促進と
IoT技術のより容易な導入をサポート

2023年初頭 出荷開始

堅牢・コンパクトサイズはそのままに、従来製品に比べ2倍超の高速化と低消費電力を実現

配線に制約がある環境で便利なPoE対応

ノーコードでIoTデバイスや主要クラウドと接続するFW5搭載

最新Debian GNU/Linux 11
AirManage 2を搭載

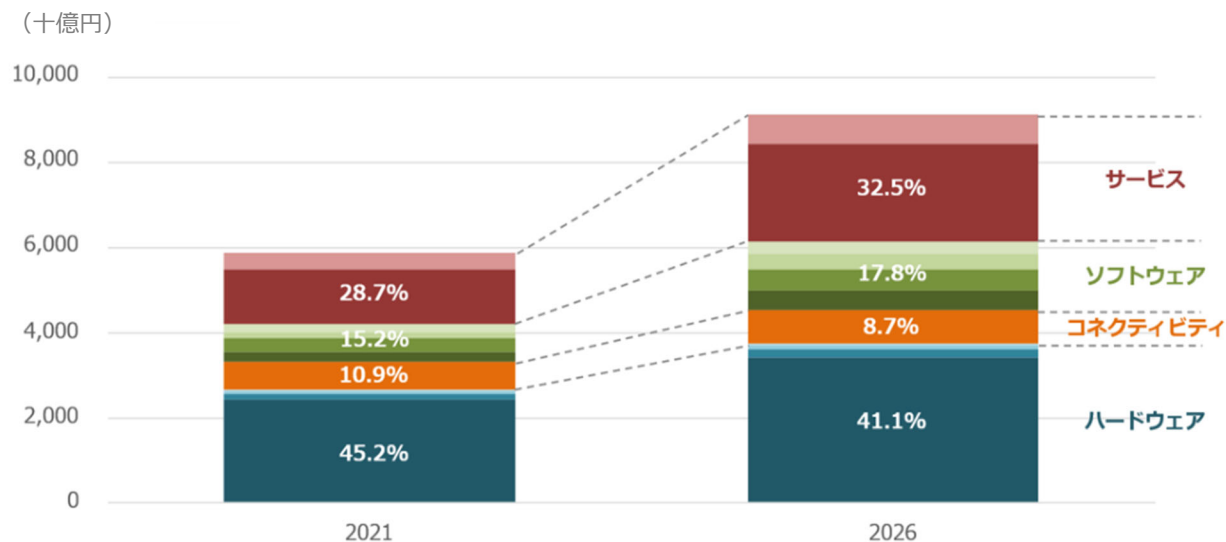
Plat'Home × IoT

事業戦略

市場分析 IoT市場の成長性

2021年の国内IoT市場の支出額は5兆8,948億円の見込みであり、その後年間平均成長率9.1%で成長し、2026年には9兆1,181億円に達する見通し

国内IoT市場 技術別の支出額規模予測と支出額割合、2021年と2026年の比較



IoT向けのソフトウェアやサービスといった技術グループへの支出額の割合が徐々に増加し、2026年には全体の50%以上に達する見込み。

- センサー/モジュール
- セキュリティHW/その他HW
- サーバー
- ストレージ
- コネクティビティ
- アプリケーションSW
- セキュリティSW/その他SW
- アナリティクスSW
- IoTプラットフォーム
- 導入サービス
- 運用サービス

出典：IDC Japanプレスリリース「国内IoT市場の産業分野別/テクノロジー別市場予測を発表」（2022年4月4日）

中期事業戦略 コネクテッドワールドの成長機会は無限

新しいテクノロジーの出現

社会の大きな変化

IoT/分散型台帳技術/AIにより、サイバーワールド（電子空間）とフィジカルワールド（物理社会）の連携がさらに強化される

コロナウイルスによる
社会変化の加速

2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 . . . 2030

プロダクト投入

- ・IoTゲートウェイプロダクト：OpenBlocks IoT シリーズ
- ・IoTゲートウェイソフトウェア：FW4
- ・マネジメントプロダクト：AirManage 2

サービス型事業モデルへの転換

- ・サブスクリプションの導入
- ・ストック型ビジネスへの開発投資

パートナーアライアンスの拡充

- ・センサーデバイスパートナー
- ・ソリューションパートナー

社会変化によるIoTの必然化

- ・エネルギーや効率化へのニーズ
- ・持続的な社会への要求

IoT市場へのさらなる浸透

- ・市場ニーズに的確に対応した製品供給
- ・都市IoTなど主要用途の開拓・浸透
- ・サービス提供による継続的価値実現
- ・ソフト分野フォーカスによる新たな成長
- ・パートナー協業による顧客課題の解決

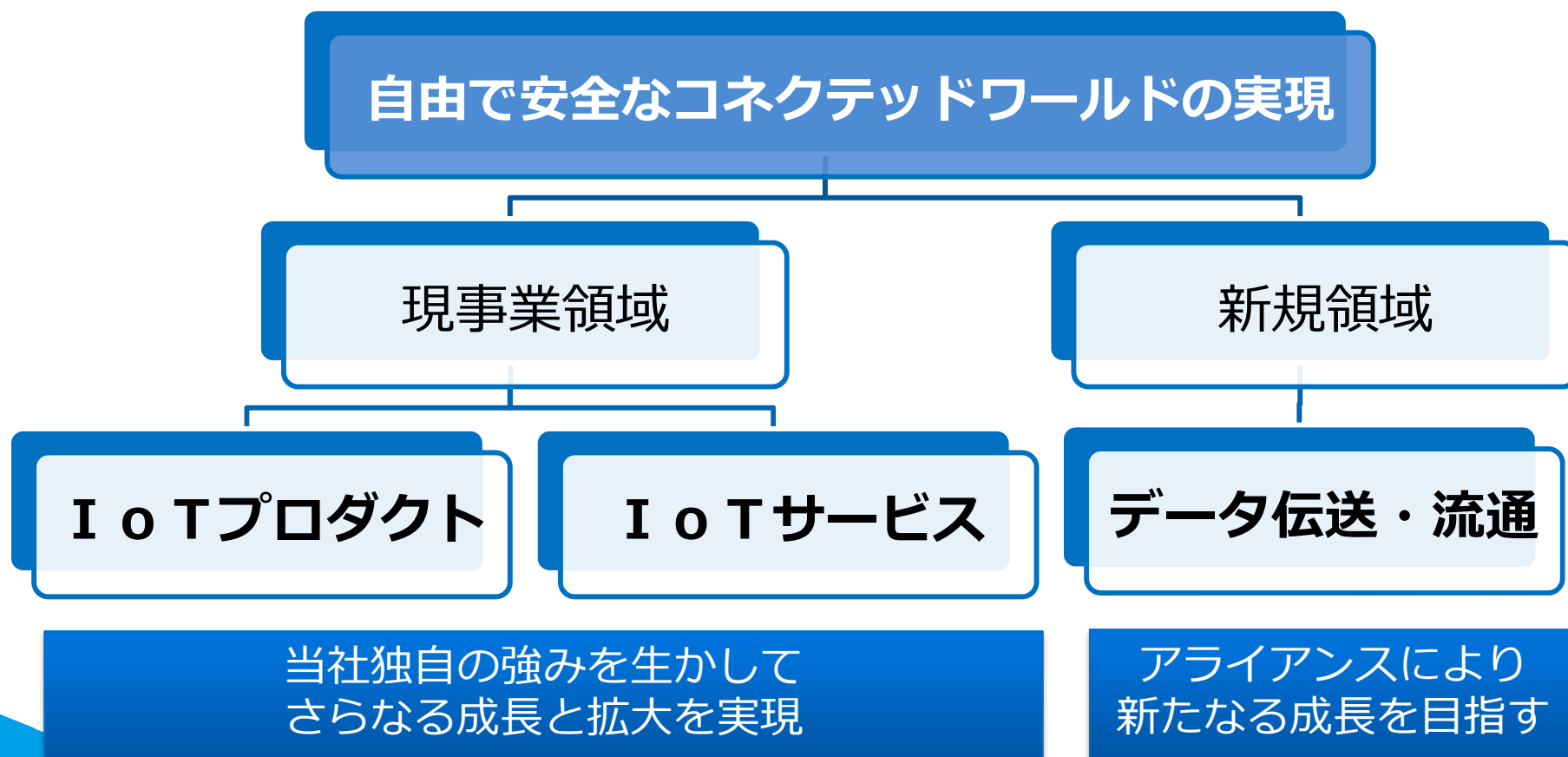
重要ニーズへの対応

- ・IoTデータ流通への対応
- ・分散型台帳技術のIoT利用
- ・IoT製品に付帯したセンサー等の周辺商品の販売強化

自由で安全なコネクテッドワールドの実現

事業展開 独自成長とアライアンス両面での成長

当社は3つの事業を通じて
「自由で安全なコネクテッドワールド」
の実現を目指します。



主要事業 IOT事業

普及期に入った製品需要に対応した顧客接点の充実

1 ユーザーへの適切なサポート

- 顧客との対話の深化・拡大
- 適切なパートナーを通じたサポートの強化
- 顧客をサポートするパートナー企業への技術・販売支援の充実

2 パートナープログラムの拡充

- 適合するセンサー・デバイスの拡充
- パートナーとの販売面での協業

3 パッケージ製品によるソリューションの提供

- センサー・デバイスと組み合わせたソリューションパッケージの投入
- アプリケーションを搭載したアプライアンス製品の投入

パートナーシップ

IoTデバイス・ソリューションパートナープログラム

各メーカーの連携により、接続性の高いシステム構築と、ワンストップによるわかりやすい情報提供、IoT市場の認知・拡大を目指した協業プログラム



IoT Device Solution
Partner Program

IoTセンサー・デバイスパートナー

- ・エイブリック株式会社
- ・アルプスアルパイン株式会社
- ・英和株式会社
- ・エレックス工業株式会社
- ・EnOcean GmbH
- ・株式会社フォーカスシステムズ
- ・富士通株式会社
- ・富士通コンポーネント株式会社
- ・I-PEX株式会社
- ・因幡電機産業株式会社
- ・株式会社インタープロ
- ・アイテック株式会社
- ・丸紅情報システムズ株式会社
- ・ナカヨ株式会社
- ・日本セラミック株式会社
- ・オカバマーケティングシステム株式会社
- ・沖電気株式会社
- ・オムロン株式会社
- ・オプテックス株式会社
- ・パトライト株式会社
- ・ラトックシステム株式会社
- ・株式会社リコー
- ・セイコーインスツル株式会社
- ・ソナス株式会社
- ・トッパン・フォームズ株式会社
- ・東洋エレクトロニクス株式会社
- ・ユニ電子株式会社
- ・ワッティー株式会社

IoTソリューションパートナー

- ・株式会社ファンブライト
- ・株式会社マクニカ

パッケージパートナー

自社のIoTデバイスと当社のIoTゲートウェイなどを組み合わせ、機器の接続などの設定がなされた状態で販売されるIoTのパッケージ製品を取り扱うパートナー

- ・オプテックス株式会社

プログラム加入企業 2022年10月現在（敬称略）

パートナープログラムへの新規参加企業

- **ぷらっとホームのIoTセンサー・デバイスパートナープログラムに株式会社リコーが参加**
 - 2022年10月25日、ぷらっとホーム株式会社（証券コード：東証スタンダード6836、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下ぷらっとホーム）は、株式会社リコー（証券コード：東証プライム7752、本社：東京都大田区、社長執行役員：山下良則、以下リコー）が、ぷらっとホームの協業プログラム「IoTセンサー・デバイスパートナープログラム」に参加したことを発表しました。

RICOH

- **ぷらっとホームの新たな協業プログラム、IoTソリューションパートナープログラムにマクニカとファンブライトが参加**
 - 2022年10月12日、ぷらっとホーム株式会社（証券コード：東証スタンダード6836、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下ぷらっとホーム）は、本日、新たにスタートしたIoTソリューション企業との協業プログラム「IoTソリューションパートナープログラム」に、株式会社マクニカ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：原 一将、以下マクニカ）と株式会社ファンブライト（本社：東京都中央区、代表取締役：山下晴規、以下ファンブライト）が参加したことを発表しました。

MACNICA

ファンブライト

当社事業による社会貢献



環境への配慮

- 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

SDGsへの取り組み

- SDGsによって目標、ターゲットが具体的に明示されたことを機に、改めて当社事業が社会課題の解決に役立つかを整理した。当社の事業は多くの社会課題と関係し、またその解決の一助となっていることを再認識し、当社事業の進展により社会課題の解決につながることから、全社一丸で取り組む。

今後の取り組み

- 当社事業によりフィジカルワールドとサイバーワールドを結び付け、①より利便性の高い社会を実現すること（地方公共団体・電力会社・交通・物流・公共施設へのサービス提供）、②より安全な社会を実現すること（地方公共団体・教育機関・医療機関・警備・保険・セキュリティ会社へのサービス提供）、③より豊かなくらしづくりを実現すること（ビルマネジメント・ビル設備・照明システム、自動車・エネルギー・各種製造業・建設業へのサービス提供）を目標に取り組む。

業績予想

半導体生産は徐々に回復しつつあるものの、一部半導体の供給不足は当社の自社製品だけでなく、商材として販売しているネットワーク関連商品にも広く影響。

比較的入手が容易な部材を採用した次世代機の開発を1年前倒しし、順次市場投入をするが、新製品による事業向上の効果が現れるのは、第4四半期からとなる見通し。

このため当事業年度の売上高については、I o T事業は720百万円、一般商材など非I o T事業は330百万円、全体で1,050百万円と当初予想に達しない見込み。

販売費及び一般管理費は従来以上に節減に努めるものの、経常利益、当期純利益とも当初予想を下回る見込み。

	2022年 3月期	2023年3月期 業績予想			
	前期実績	当初 通期予想	修正 通期予想	増減額	増減率
売上高	1,219	1,320	1,050	△ 270	△ 20.5
経常利益	△ 57	20	△ 80	△ 100	—
当期純利益	△ 33	16	△ 90	△ 106	—

(単位 百万円未満切捨、%)

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

(注) スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。